

製造業安全対策官民協議会 サブWG（田村チーム）
～これまでの取り組みと今後の進め方～（案）

1. 田村チーム検討課題

- ◆安全対策の経済効果と社会的評価
- ◆産業界における安全教育の体系的プログラムの策定

2. これまでの取り組み等

- 第1回検討会 平成29年6月28日
 - ・経済効果については、中災防が平成12年に実施した「安全対策の費用対効果に関する分析」（企業における安全に係る費用対効果比は、1：2.7）の概要等、現状把握
 - ・社会的評価については、厚生労働省の「安全衛生優良企業制度」等の概要を説明してもらう等、現状を把握
 - 第2回検討会 平成29年8月7日
 - ・社会的評価(表彰)に関するアンケート調査票の検討
→アンケート調査の実施(8月8日～8月31日)
 - ・各階層別の安全教育のプログラムに関するアンケート調査票の検討
→アンケート調査の実施(8月8日～9月11日)
 - 第3回検討会 平成29年12月20日(水)
 - ・産業界の学校教育への協力に関するアンケート(案)の検討
 - ・安全対策の経済効果に関する企業向けアンケート(案)検討
- ※ 各アンケート調査票を平成30年1月29日(月)に構成団体に実施依頼
- ※ 以下予定
- 第4回検討会 平成30年2月28日
 - ・安全対策の社会的評価 -主に健康経営等-
 - ・産業界における安全教育の体系的プログラム -主に危険体感教育について-

3. サブワーキンググループ(田村チーム)の今後の検討の進め方

- ◆安全対策の経済効果と社会的評価
 - (1)安全対策の経済効果
 - ①安全対策の経済効果に関する企業向けアンケートをとりまとめ、実態を把握する。
 - ②調査結果をもとに有識者等を交えて、引き続き検討する。
 - (2)安全対策の社会的評価
 - ①経済産業省の「健康経営」等の概要を説明してもらう等、現状を把握する。
 - ②引き続き社会的評価を検討する。
- ◆産業界における安全教育の体系的プログラム等関係
 - (1)安全教育の体系化
 - ①危険体験教育について検討する。
 - ②調査したキーワードを手がかりに、安全教育科目をとりまとめる。
 - ③産業分野に「共通」する、又は「分野別」の階層別の安全教育プログラムを検討する。
 - (2)学校教育
 - ①産業界の学校教育への協力に関するアンケートをとりまとめ、実態を把握する。
 - ②当分の間は、産業界として学校教育に貢献でき得る事項などについて自由な意見交換を行う。

以上